

Rotary



R.I. 第2620地区 静岡第1グループ
三島西ロータリークラブ

週報

第2258号

事務所 静岡県三島市泉町9-8
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市本町6-35 呉竹
TEL(055)975-3210
会長 花房 孝光 幹事 古屋 英将



広重版画より 三島 朝霧

第2330回例会

2022.7.14晴

司会

南木一仁君

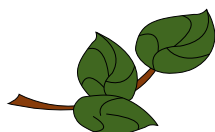
ロータリーソング

「我等の生業」
指揮 野田和秀君

会長挨拶

会長 花房孝光君

コロナの感染が増えてきました。急速な拡大です。
旅館のほうは宴会のお客様はキャンセルが入り始めました。
今、私の一番の心配は8月3日4日の花火大会のことです。
移転して今年初めて花火の宿泊を受け入れました。と言う
か、2年間中止になっていました。平日ですが満館です。お
客様の喜ぶお顔が見たい！
静岡の県民割は延長が決まりました。期間は7月15日～8月
31日まで(7月15日の予約から有効)今まで通り5000円割引
と2000円のクーポン券が付きます。
7月の連休も8月のお盆の時期も除外されず、ずっと割引
されます。条件はワクチン3回目の接種の証明と住所のわか
るもの(免許証、保険証等)の提示です。
夏と冬にコロナ患者が増えるのは毎年のことになりそうです。
また今年も様子見をしながらの活動になるかもしれません。
状況を見守りながら判断させていただきます。
今日はクラブ協議会です。委員長の皆様よろしくお願
い致します。そして皆様委員会活動へのご協力賜りますこと
をお願い申し上げます。



出席報告

	出席総数	出席率	メ ア ッ ク ブ	修 出 席 正 率
前々回	46/51	90.20%	47/51	92.16%
今回	46/52	88.46%	会員総数	55名

欠席者 芦川君、川名君、桐部君、栗原(康)君、橋本君、
藤江君

“こんにちは、ようこそ”

ビジター 山口辰哉君(せせらぎ三島RC)

幹事報告

幹事 古屋英将君

- ①7月16日(土)ロータリー財団セミナー(グランシップ)会長・柴崎委員長参加。
- ②7月30日(土)会員増強・維持セミナー(グランシップ)会長・内田委員長・幹事参加。
- ③7月31日(日)米山記念奨学セミナー(オンライン)会長・柴崎委員長・岩崎さん参加。
- ④コロナ第7派によるロータリー活動について
 - ・行動制限の状況により理事・役員会にて判断する
 - ・テーブル会については各テーブルの判断により開催、会長・幹事は自粛する。

2022～2023年度
国際ロータリー会長
ジェニファー・ジョーンズ

イマジン ロータリー

クラブ協議会

S A A

杉崎亮慈君

「基本方針」

気品と風紀を守り、秩序正しく例会が運営され、且つ、親睦が深められるような設営をする

「活動方針」

- 1.withコロナに対応した例会運営を目指す
- 2.定刻開始、時間内終了、卓話時間の確保の順守をする
- 3.発言者、発表者に敬意を払い、また、当クラブ来訪のお客様を歓迎し、良い雰囲気づくりをする
- 4.年4回の席替えを行い、さまざまな会員同士の親睦を図れるようにする

クラブ広報委員会

委員長 森藤 賢君

〈基本方針〉

三島西ロータリークラブの活動を、会員に周知いただける様に尽力する。

〈活動計画〉

- 1, 週報掲載資料を間違いなく速やかに事務局へ提出する。
- 2, 地域メディアと連携し、三島西ロータリーの活動を多くの人に認知してもらう。
- 3, ソーシャルメディアを活用し、多方面へつながる活動をする。

会員増強維持委員会

委員長 内田満洋君

〈基本方針〉

50周年を超えた三島西ロータリークラブの歴史を引き継いできた先輩諸兄とともに、これからの時代を見据えた会員増強・維持等に努めて参ります。

〈活動計画〉

- 1.会員数プラス3名増加を目標としたい。
- 2.現状6%の女性会員割合を10%まで引き上げ。
- 3.会員維持の為にコミュニケーションの活性化。
- 4.候補者情報の収集。積極的な勧誘の推進。

クラブ管理運営委員会

委員長 千葉慎二君

副委員長に桐部さん、委員に遠藤(眞)さん、矢野さん、諏訪部(照)さんという豪華ラインナップで一年間取り組ませて戴きます。年間プログラムは出来上がっていますので、今後の主な活動は、プログラムの変更などに合わせて必要な調整をすること、卓話者には事前の確認の連絡をすること、例会での出席報告をすること、例会欠席者へのメイクアップのお願いFAXを発信することとなります。スムーズで実りあるプログラムの実施と年間90%を超える例会出席率の実現に向けて、委員会一同で取り組んで参りますので、皆様には宜しくご指導、ご協力をお願い申し上げます。

親睦活動委員会

委員長 西川洋司君

〈基本方針〉

1. 親睦活動委員会メンバー間の情報連携により、会員並びに会員家族の融和を図れる企画を立案し、その実現に向けた委員会運営を行う。
2. 前年度より延期された50周年実行委員会への積極的協力を行う。

〈活動計画〉

1. 例会の受付と週報等配布物の取扱い
2. スマイルの推進と発表
3. 夜間親睦例会の実施
4. 忘年家族例会の実施
5. 家族親睦例会の実施
6. さよなら例会の実施

ロータリー情報委員会

委員長 栗原達治君

〈基本方針〉

- 1.RIや地区からのロータリー情報ははじめ、ロータリアンとして必要と思われる情報を収集し会員に伝達する。
- 2.新会員にロータリーを十分理解していただくために、ロータリーの目的、手続要覧、定款、クラブ細則などの規則や、ロータリーの活動について、説明や支援を行う。

〈活動計画〉

- 1.新会員の勉強会・懇親会を会長・幹事・推薦者とともに開催し、ロータリーを理解していただくための資料等を適宜準備し、提供する。前鈴木委員長が改訂した『新会員のためのロータリー情報』を活用する。
- 2.地区大会、地区の研修会等に参加し、情報の収集に努める。
- 3.クラブフォーラムなどで、ロータリーに関する情報を卓話にて会員に提供し、ロータリーへの理解を深めていただく。
- 4.コロナ感染の状況を考慮し、その都度柔軟に対応する。

職業・社会奉仕委員会 委員長 加藤憲勝君

<基本方針>

- ・会員それぞれの職業を通じ、社員に豊かな環境を提供し、地域社会に貢献する。
- ・奉仕活動に参加し、社会貢献をすることで三島西ロータリークラブの認知度向上に努める。
- ・奉仕活動を通して静岡第1グループ全体の交流を深める。

<活動計画>

- ・職業奉仕の理念に基づいた活動
- ・優良事業所、官公庁、現場等の見学
- ・見晴フェスティバルへの参加、協力
- ・三島市国際交流フェアへの参加
- ・静岡第1グループ全体での奉仕活動



国際奉仕委員会 委員長 森崎祐治君

<基本方針>

長年にわたる当クラブの国際奉仕活動である苗栗RC、苗栗東南RCとの交流、中でも中学生交換交流事業をメイン事業として取り組む。コロナ禍でここ3年間中断しており実現に努める。また酒田東RC、多治見西RCとの交流も促進し、三島市国際交流協会の活動にも積極的に協力する。

<活動計画>

1. 苗栗への交換中学生の派遣。
2. 苗栗RCの52周年記念式典への多数参加。
3. 延期された当クラブ創立50周年記念事業への協力(姉妹、友好クラブへの対応など)
4. 三島市国際交流協会の活動への参加協力。

ロータリー財団米山委員会 委員長 柴崎恵子君

ロータリー財団

<基本方針>

ロータリー財団地区補助金を積極的に活用して地域に貢献する。

<活動計画>

地区目標の達成

年次基金寄付 US\$150/人年

(3年後の奉仕活動のために)

ベネファクター(恒久基金寄付) US\$1000.

クラブ1名以上

ポリオプラス基金への寄付 US\$30/人年

米山梅吉記念館の支援

(公財)米山梅吉記念館賛助会員 ¥3000./人年

米山

<基本方針>

米山梅吉翁の「奉仕の精神」を継承し併せて米山梅吉記念館及び米山記念奨学会事業に対して会員各位の理解を深めて頂くよう努める

<活動計画>

米山奨学生支援として奨学生の卓話依頼

本年度は中国出身 ソウ、キンキンさんの卓話

米山奨学生の支援活動をサポートする

米山梅吉記念館の活用

50周年実行委員会 委員長 室伏勝宏君

三島西ロータリークラブ創立50周年記念行事はコロナ禍で1年間延期になりました。この1年間を実行委員会は有効に使いたいと思っています。

基本理念

「皆で作る50周年」

基本方針

「子供たちの未来のために、今までも、これからも」(実行委員会の基本方針)

記念誌委員会は動き始めています。会員の寄稿と交換学生原稿を集めています。親睦一座委員会は台本が出来上がりました。タイトルは「ポール・ハリスとアル・カボネ」です。いつでも練習が開始できます。記念事業委員会は改めて、広く会員から記念事業のアイデアを募集し、再度検討していきます。

森崎直前会長の基本理念「皆で作る50周年」のもと、これからもご協力よろしくお願いたします。

おめでとう

会員誕生日 三田君、西川君、矢岸君、
遠藤(正)君、平出君、
渡邊君
入会記念日 梶山君
奥様誕生日 鈴木(郁)君

表彰



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー 澤田 稔君

スマイルボックス

- ◆山口(辰)君(せせらぎ三島RC)、会員数の多いクラブを訪問したくて伺いました。お世話になります。
- ◆伊丹君、7月1日のゴルフコンペで私には考えられない珍事がありましたのでスマイル致します。午後のプレーで36ストロークが出たのですが、それがなんと9ホール全て4ストロークでした。それはロングボールはバーディー、ショートホール2ホールがボギーでミドルホールは全てパーで出来上がった訳でもう二度と出来ない記録だと思います。帰りの交通事故に逢わぬ様ハラハラしながら帰宅致しました。
- ◆岩崎君、本日、振り込め詐欺の未然防止で三島警察署から感謝状をいただきました。詐欺グループの「受け子」は都内から新幹線に乗ってやってくるケースが多いそうで、新幹線が止まる三島市内は狙われやすいという事です。皆様ご注意ください。
- ◆窪田君、森藤さん、電機工事宜しく願います。暑い中面倒かけます。
- ◆窪田君、鈴木郁夫先生、先日はありがとうございました。今後ともよろしく願います。
- ◆鈴木(郁)君、名札を家に持ち帰り、今日忘れました。
- ◆諏訪部(敏)君、バッジを忘れました。
- ◆室伏君、早退します。

ROTARY NEWS

RI会長メッセージ

ロータリーに入会して以来、毎月、ロータリー雑誌を楽しみにしています。特に、冒頭の会長メッセージ。電子コピーもいいのですが、それでもやはり椅子に腰かけて雑誌のつやつやの紙面をめくるのは楽しいものです。私たちみんなが大切に思っているこの素晴らしい団体を映した写真や忘れがたいストーリーの宝庫ですから。これまで長年にわたり、奉仕プロジェクトや皆さんが変化をもたらした人びとの暮らしについて、この雑誌から多くを学んできました。

コミュニケーションの専門家としては、私たちのストーリーがマスコミで日常的に取りあげられ、機関紙が病院や喫茶店などに置かれて人びとに読まれる日がいつか来ることを楽しみにしてきました。ロータリー会員がみんなの活動について詳しくなるのは素晴らしいことですが、より多くの人びとが私たちのストーリーを知ってくれたとしたら、そんなに素晴らしいことはないのではないのでしょうか。

そんな思いをめぐらせながら、今年度、世界中でロータリーを推進するための計画を練りました。今後12カ月間で、ロータリーの奉仕活動の好例となるようなプロジェクトに光を当てていきます。それも、戦略的に。ニックと私は、イマジン・インパクト・ツアーと名づけた、重点分野で最も影響の大きい、持続可能で大規模なロータリープロジェクトに焦点を当てます。奉仕したいと思っているけれどもロータリーに参加すれば奉仕活動ができると感じていない人びとに呼びかけてくれるように、一流のジャーナリスト、ソートリーダー(思想的指導者)、インフルエンサーに働きかけます。

しかし考えるべき重要な問題はほかにもあります。カーボンフットプリント(企業や個人の活動で消費される温室効果ガス排出量)です。私は、環境問題においてロータリーがリーダーシップを取りだしたことを真摯に受けとめています。コロナ禍で会員たちはロータリーが未来を切りひらくためのカギとなる模範を示してくれました。

つまり、デジタル技術を活用してロータリーのストーリーを発信していくのです。関心がある人には誰にでも届くように、ツイート、投稿、「ライブ」を行います。環境への影響を考える必要がある。ということは、そのためにはイベントなどを毎回対面式で行うのではなく、ここ2年間のように有意義な方法でつながり続けることにもなるでしょう。

もちろん、ロータリアンは人好きですから、交流の機会は必要です。ただ、今までより慎重に計画して、少しだけ違う方法で集まる方法を考えないといけない。例えば、プロジェクトのために現地を訪問する際には、近隣で行われているプロジェクトも訪問する予定を立てるなど。

皆さんにはどのようなストーリーがありますか?発信するのを手伝ってくれる人はいますか?皆さんもイマジン・インパクトに取り組みませんか。ストーリーは、ソーシャルメディアやZoomでも簡単に発信できるかもしれません。クラブや地区で注目すべきプロジェクトを紹介する方法をぜひお考えください。

ロータリーの奉仕活動と理念がもたらす影響は、私たちみんなが感じています。今こそ、この感覚を世界の人びとと共有する時です。

(週報担当: 森藤賢)